

---

2018年10月11日

各位

株式会社 三十三総研

第45回「経営者アンケート」調査結果について

三十三フィナンシャルグループのグループ内会社で、三重銀行のシンクタンクであります株式会社三十三総研（代表取締役社長 山本 博也）では、このたびお取引先企業で構成する三重銀経営者クラブの会員を対象とした経営者アンケートを実施し、調査結果を取りまとめましたのでご報告申し上げます。

- 経営者アンケート調査の概要 -

1. 調査対象

三重銀経営者クラブ会員で、資本金1億円以下の三重県下法人企業1,078社

2. 調査方法

郵送によるアンケート調査

3. 調査時期

2018年9月上旬～中旬

4. 回収状況

配布数 1,078社

回収数 403社（回収率 37.4%）

5. 調査結果

別添資料

経営者アンケートは、年2回（3月・9月）実施しております。

なお、本件に関するお問い合わせは、下記担当者までお願い致します。

株式会社三十三総研 調査部（059-354-7102）

担当 佐藤 聡一郎

以上

# 第45回経営者アンケート調査結果<概要版>

## 企業の景況感は慎重化

### 【今回のポイント】

県内景気はD.I.値が2半期ぶりに悪化。(p3)

2018年度上期(2018年4月～9月)の県内景気は、D.I.値が+5.6と、前期(+11.3)から悪化した。来期(2018年10月～2019年3月)は+0.5と、プラス幅がさらに縮小する見込みとなっており、経営者の景況感は慎重化する見通しである。

### 【総括】

景況感を示すD.I.値は2半期ぶりに悪化した。先行きも、プラス幅がさらに縮小する見込みとなっており、経営者の景況感は慎重化する見通しである。売上高のD.I.値は、製造業で改善した一方、建設業、非製造業で悪化した。利益状況のD.I.値は、製造業、建設業、非製造業ともに悪化した。また、設備投資を「実施した」企業の割合が2半期連続で増加した一方、雇用状況を「不足」とみる企業の割合が4半期ぶりに減少した。

### 【項目別】

県内景気 ... D.I.値は2半期ぶりに悪化した。先行きについて、プラス幅が縮小する見込みとなっており、経営者の景況感は慎重化する見通しである。(p3)

業界景気 ... 製造業のD.I.値は改善し、3半期連続のプラスとなった。一方、建設業、非製造業のD.I.値はともに悪化し、マイナスに転化した。先行きは、建設業で改善が見込まれるものの、製造業、非製造業はともに悪化が見込まれる。(p4～7)

自社の業況 ... 製造業は、売上高のD.I.値が改善したものの、利益状況のD.I.値が悪化した。先行きはどちらも改善し、プラス幅が拡大する見込みである。建設業、非製造業の売上高、利益状況のD.I.値はともに悪化した。先行きはともに改善が見込まれる。(p8～15)

経営判断 ... 設備投資の実施状況を見ると、「実施した」企業の割合は2半期連続で増加した。雇用状況は、「不足」とみる企業の割合が4半期ぶりに減少した。(p16・17)

2018年度下期の展望 ... 「プラス要因が強い」とみている企業の割合が増加した一方、「マイナス要因が強い」とみている企業の割合が減少し、企業の先行きに対する不安感は弱まった。(p18・19)

特別調査～企業のリスクに対する意識とBCPの策定について～

... 自然災害などのリスクに対する不安について、「非常に不安を感じる」または「少し不安を感じる」と回答した企業の割合が84.3%みられた。リスクに備えて実施している取組は、「従業員の安否確認システムの整備」や「地震補償保険など災害保険への加入」と回答した企業が多かった。もっとも、取組を「特にしていない」企業が4分の1みられた。BCPの策定状況については、「すでに策定済み」が6.8%にとどまった一方、「BCPを知らなかった」企業が16.7%みられた。BCP策定時に希望する支援内容は、「作成ツールの提供」と回答した企業が多かった。(p20～22)

### 【調査の概要】

#### 1. 調査対象

三重銀経営者クラブ会員で、資本金1億円以下の三重県下法人企業1,078社

#### 2. 調査方法

郵送によるアンケート調査

#### 3. 調査時期

2018年9月上旬～中旬

#### 4. 回答状況

配布数 1,078票 (前回 1,087票)

回収数 403票 (前回 397票)

回収率 37.4% (前回 36.5%)

なお、詳細な内容につきましては、調査結果冊子をご参照下さい。